

騒音計・振動計ソフト使い方マニュアル

※注意※

本ソフトは Excel2007 以降のバージョンをサポートするものであり、それ以前の Excel バージョンについては、動作しない恐れがあります。また、将来 Excel のバージョンアップを含むマイクロソフト社が VBA の仕様を変更した場合、一部機能が使用出来なくなる恐れがありますので、ご注意ください。

また、本説明書内のソフト画面はマニュアル作成当時のものであり、最新版とレイアウト等が異なる場合があります。

実行するエクセルファイル名は絶対に変更しないでください。

株式会社アクティオ
通信 ICT 事業部

発行・改定日	担当者	内容
2017/12/18		初回作成
2024/3/27		使用機器に NL-43、NV-2018/2023 を追加
2025/12/25		一部ソフト画面を最新版に差し替え 一部文章を修正

ご使用前に、計測に使用した機器の型式をご確認ください。

NL・VM系

騒音計：NL-21

騒音計：NL-42

騒音計：NL-43



CF カード



SD カード



SD カード

振動計：VM-53A



振動計：VM-55



NV系

環境表示計：NV-2009/2015/2018/2023



【目次】

ソフトの立ち上げ	5
1.「日報・グラフ作成(個別作成)」を開く	5
2.騒音・振動のデータを取り込む	7
★取り込むデータを間違っソフトがフリーズした場合の対処方法について	8
3. 日報とグラフの作成方法	9
4. 一括読込ファイルの使用方法	12
5. 一括読込で作成したファイルを開いて、日報とグラフを作成します。	18

6.測定値の簡易説明	20
------------------	----

ソフトの立ち上げ

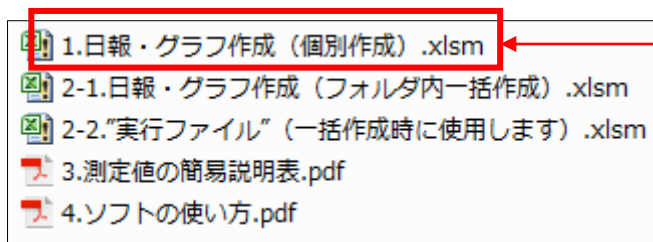
「日報ソフト～」のフォルダを開きます。



ファイルが圧縮されている場合は、適宜解凍してご使用ください。

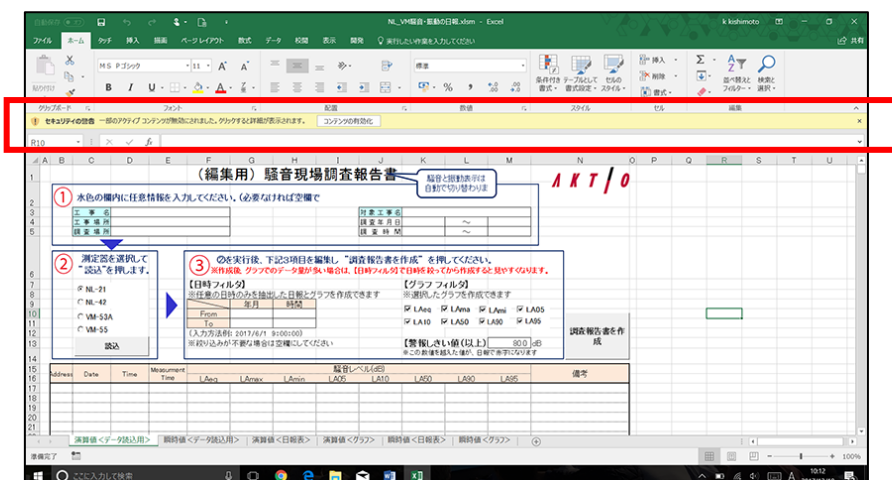
※通常、圧縮ファイルの拡張子は.zip などです。

1.「1.日報・グラフ作成(個別作成)」を開きます。



※注意(セキュリティの警告について)

エクセルファイルを開いた時にセキュリティの警告が出た場合、
コンテンツの有効化を押下して VBA マクロを有効にしてください。



2. 騒音・振動日報の作成方法

2-1.使用する機器(データを取り込む機器)の選択を行います。

(編集用) 振動現場調査報告書

騒音と振動表示は自動で切り替わります

1 水色の欄内に任意情報を入力してください。(必要な場合は空欄でも可)

2 測定器を選択して読み込み

測定器

読み込み

※NVシリーズの場合

2 "読み込み"を押します。

読み込み

※この数値を越えた値が、日報で赤字になります

【グラフフィルタ】

※選択したグラフを作成できます

LVeq LVmax LVmin LV05

LV10 LV50 LV90 LV95

【警報しきい値(以上)】 80.0 dB

※この数値を越えた値が、日報で赤字になります

調査報告書を作成

Address Date Time

振動レベル(dB)

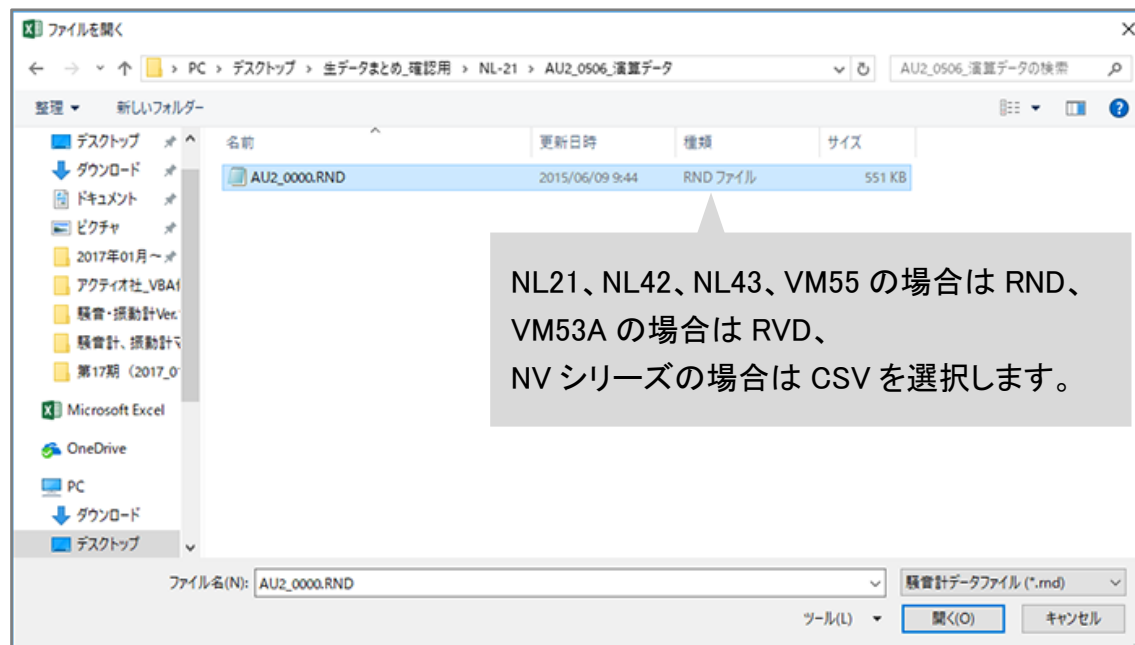
LVmin LV05 LV10 LV50 LV90 LV95

備考

※使用する機器の間違いに注意してください。

2-2.使用する機器を確認し、読み込みボタンを押下します。

2-3.選択した機器の取り込みたいファイルを選択します。



取り込むファイルが保存されているフォルダを確認してください。(次頁)

NL-21、VM-53A の場合

ストアモードをオート1、またはタイマーオート1で測定した際は、瞬時値(データ上では「AU1_4 桁数字」となります。

ストアモードをオート2、またはタイマーオート2で測定した際は演算値(データ上では「AU2_4 桁数字」となります。

※瞬時値・演算値の同時保存はできません。

NL-42、NL-43、VM-55 の場合

AUTO_LEQ…演算値 / AUTO_LV…瞬時値

NV シリーズの場合

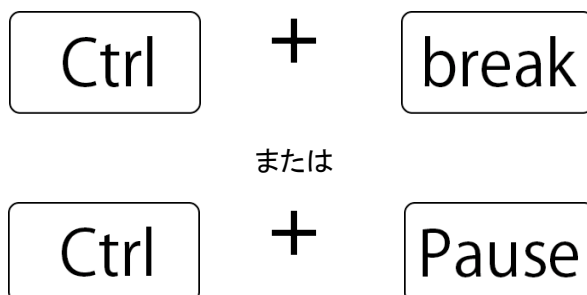
Log0~Log6 までの CSV データを選択してください。

※Log9 はバックアップ用データなので通常時は使用しません。

2-4.データが取り込まれます。

Address	Date	Time	Measurement Time	LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	備考
1	H27.5.6	15:49:16	0.1000	64.5	84.1	54.9	69.4	67.3	62.0	59.6	58.0	
2	H27.5.6	15:59:16	0.1000	62.1	78.4	55.9	65.4	63.5	60.7	59.1	58.5	
3	H27.5.6	16:09:16	0.1000	63.1	76.9	56.8	66.5	64.6	62.1	60.3	58.9	
4	H27.5.6	16:19:16	0.1000	60.5	71.3	54.6	63.5	62.3	59.7	57.9	57.4	
5	H27.5.6	16:29:16	0.1000	63.2	80.6	57.8	66.2	64.5	62.0	60.3	59.9	
6	H27.5.6	16:39:16	0.1000	54.4	75.2	47.3	58.9	57.2	51.1	49.3	48.9	
7	H27.5.6	16:49:16	0.1000	51.1	62.4	47.6	53.9	52.6	50.4	49.0	48.7	
8	H27.5.6	16:59:16	0.1000	51.1	60.8	47.2	53.9	52.4	50.4	49.0	48.7	
9	H27.5.6	17:09:16	0.1000	51.0	60.7	47.1	54.0	52.3	50.2	48.8	48.6	
10	H27.5.6	17:19:16	0.1000	51.4	68.2	46.7	55.0	52.8	50.3	48.8	48.6	
11	H27.5.6	17:29:16	0.1000	50.9	59.9	47.6	53.4	52.2	50.4	49.1	48.8	
12	H27.5.6	17:39:16	0.1000	51.0	61.0	46.9	53.6	52.1	50.4	49.2	48.9	
13	H27.5.6	17:49:16	0.1000	51.3	67.1	47.4	54.1	52.6	50.5	49.2	48.9	
14	H27.5.6	17:59:16	0.1000	51.7	64.3	46.7	55.7	53.7	50.5	49.2	48.9	
15	H27.5.6	18:09:16	0.1000	51.0	66.8	47.2	54.0	52.3	50.1	48.7	48.5	
16	H27.5.6	18:19:16	0.1000	51.0	62.8	47.3	53.2	52.2	50.4	49.1	48.8	
17	H27.5.6	18:29:16	0.1000	51.0	63.6	46.9	53.7	52.3	50.3	49.0	48.7	
18	H27.5.6	18:39:16	0.1000	51.0	62.4	47.6	53.3	52.1	50.4	49.1	48.8	
19	H27.5.6	18:49:16	0.1000	50.9	62.1	46.8	53.7	52.1	50.2	48.8	48.5	
20	H27.5.6	18:59:16	0.1000	51.7	62.6	47.4	55.1	53.1	50.7	49.2	48.9	
21	H27.5.6	19:09:16	0.1000	52.0	62.7	47.1	55.8	54.3	50.9	49.1	48.7	
22	H27.5.6	19:19:16	0.1000	51.5	64.0	46.2	54.7	53.1	50.6	49.0	48.7	
23	H27.5.6	19:29:16	0.1000	53.4	74.1	47.1	56.6	54.1	50.7	49.0	48.6	
24	H27.5.6	19:39:16	0.1000	53.2	70.7	47.1	55.8	54.0	51.1	49.2	48.7	
25	H27.5.6	19:49:16	0.1000	51.7	61.5	46.5	55.3	54.2	50.7	48.8	48.4	

★取り込むデータを間違っソフトがフリーズした場合の対処方法について



上記のキーを処理が止まるまで長押ししてください。

3. 日報とグラフの作成方法

3-1. フィルタ&グラフ反映を押下します。(取り込んだデータをそのまま利用する場合)

→全てのデータが反映されます。

3-2. 取り込むデータ数が多い場合(取り込んだデータが 150 行を超える場合)

→必ず日時フィルタで絞り込みを行ってください。

(編集用) 騒音現場調査報告書

① 水色の欄内に任意情報を入力してください。(必要なければ空欄で)

② 測定器を選択して「読込」を押します。

③ のを実行後、下記3項目を編集し、※作成後、グラフでのデータ量が多い場合は、【日時フィルタ】※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成してください。

【日時フィルタ】

	年月	時間
From		
To		

(入力方法例: 2017/6/1 9:00:00)

※絞り込みが不要な場合は空欄にしてください

【警報しきい値(以上)】 80.0 dB

※この数値を超えた値が、日報で赤字になります

調査報告書を作成

Address	Date	Time	Measurement Time	騒音レベル(dB)	備考							
				LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	
1	H2756	15:49:16	0:10:00	645	841	549	69.4	67.3	62.0	59.6	58.0	
2	H2756	15:59:16	0:10:00	621	78.4	56.9	65.4	63.5	60.7	59.1	58.5	
3	H2756	16:09:16	0:10:00	631	76.9	56.8	66.5	64.6	62.1	60.3	58.9	
4	H2756	16:19:16	0:10:00	605	71.3	54.6	63.5	62.3	59.7	57.9	57.4	
5	H2756	16:29:16	0:10:00	632	80.6	57.8	66.2	64.5	62.0	60.3	59.9	
6	H2756	16:39:16	0:10:00	54.4	75.2	47.3	58.9	57.2	51.1	49.3	48.9	
7	H2756	16:49:16	0:10:00	51.1	62.4	47.6	53.9	52.6	50.4	49.0	48.7	

演算値<データ読込用> 瞬時値<データ読込用> 演算値<日報表> 演算値<グラフ> 瞬時値<日報表> 瞬時値<グラフ>

3-3. 取り込んだデータの日付と時間を決めて日報とグラフを作成する場合

→日時フィルタに入力した値の範囲で日報とグラフが作成されます。

⑤ ※作成後、グラフでのデータ量が多い場合は、【日時フィルタ】

【日時フィルタ】

※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます

	年月	時間
From		
To		

(入力方法例: 2017/6/1 9:00:00)

※絞り込みが不要な場合は空欄にしてください

【日時フィルタ】

西暦で入力してください。

例) 2017/05/01

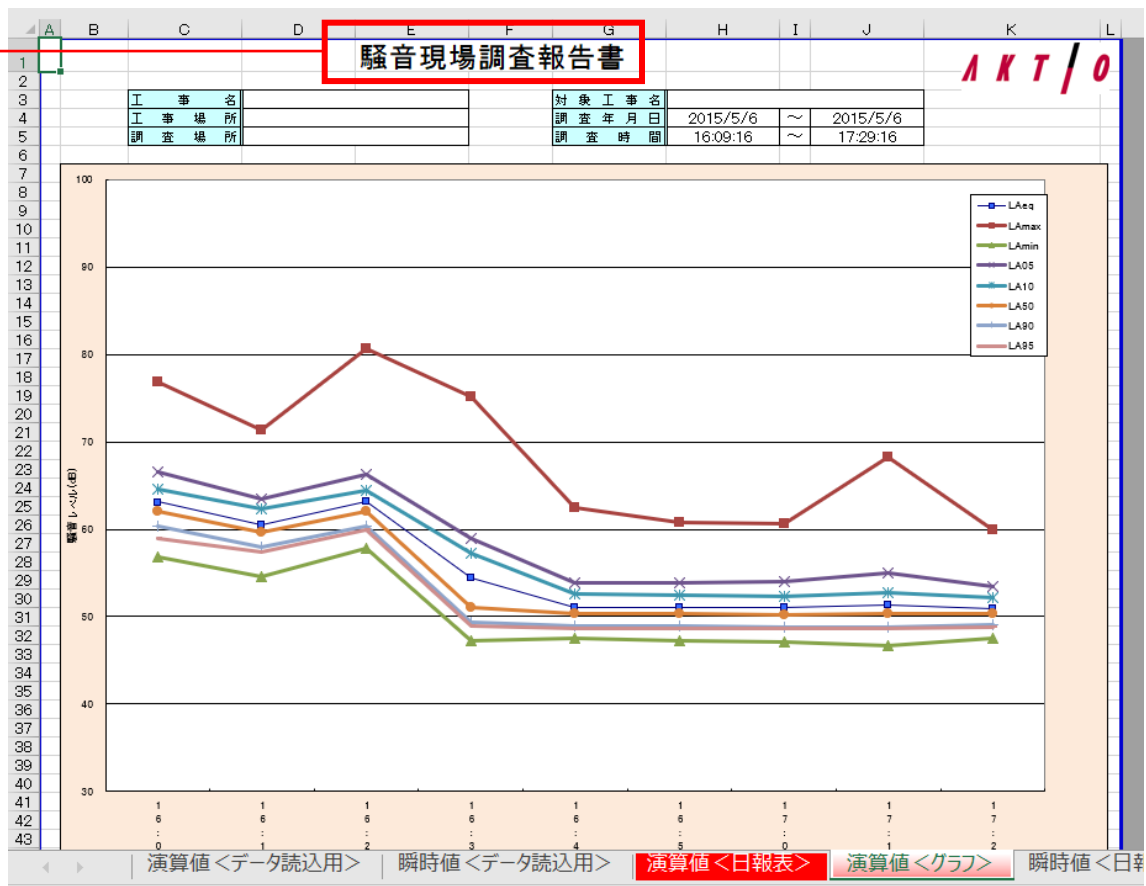
Microsoft Excel

日時フィルタが不正です。

OK

日付の入力値が間違っている場合、左記エラーメッセージが出ます。

3-5. 調査報告書のグラフ

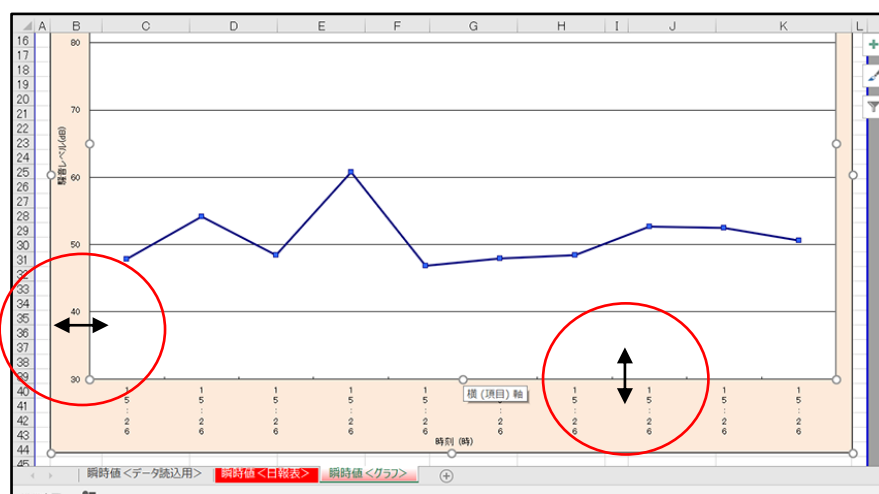


表題の変更について

→ 振動と騒音の名称は機器を選択後、データを取り込んだ時点で自動的に変わります。

グラフの調整について

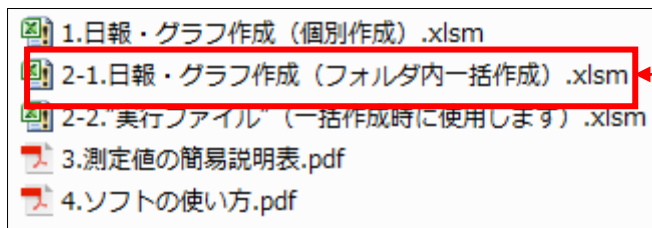
グラフの騒音レベルや時刻の文字が見づらい場合、グラフ内をクリックして調整してください。



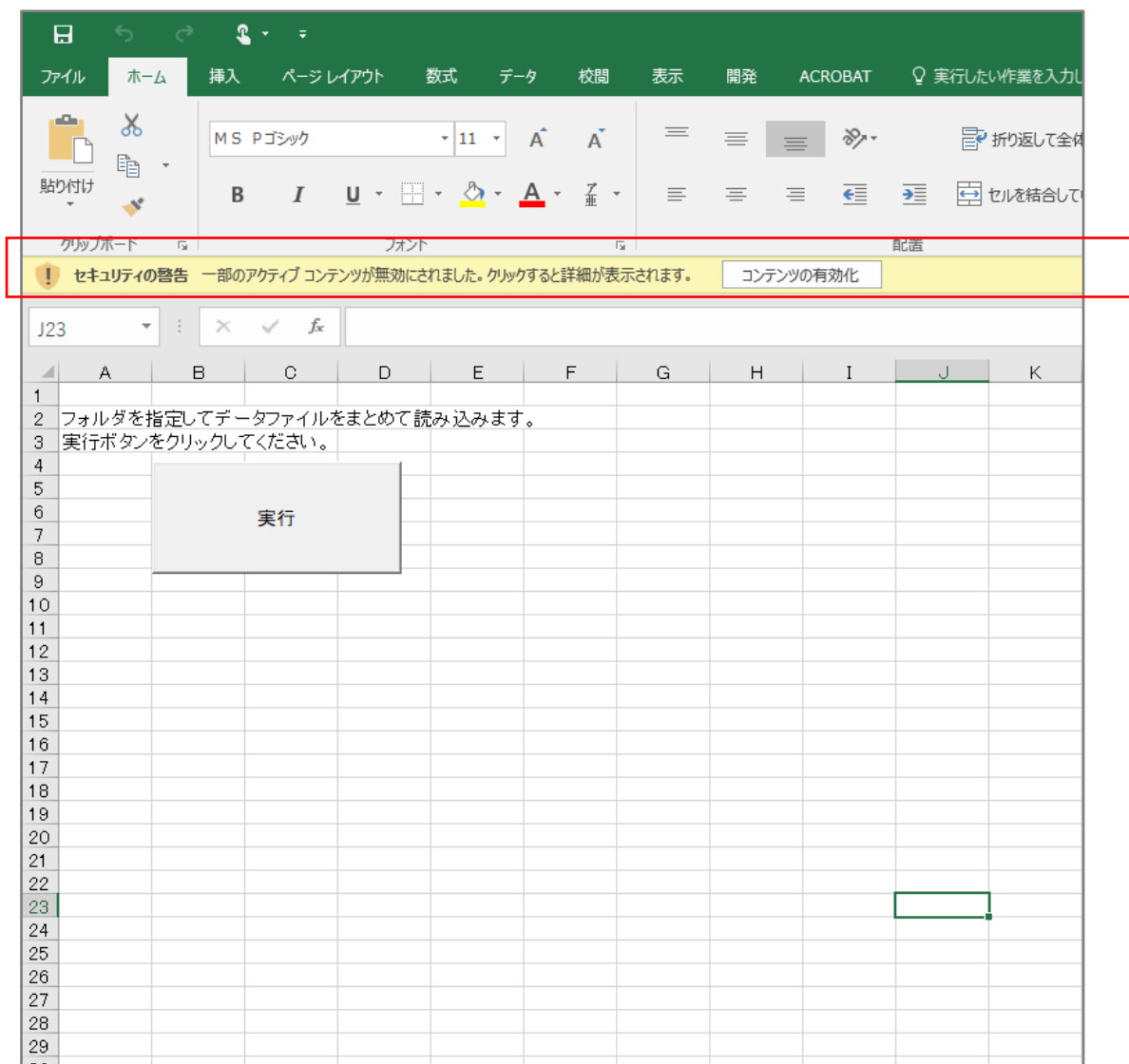
4. 一括読込ファイルの使用方法

4-1. ※一度に複数の出力ファイル进行处理する場合に使用します。

4-2. 「2-1.日報グラフ作成(フォルダ内一括作成).xlsm」ファイルを開きます。



コンテンツの有効化を押下します。



■NL・VM系 の場合

一括読込Form

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます

> 測定の際に使用した機械を選択してください


☐ NL-21
 ☐ NL-42
 ☐ VM-53A
 ☐ VM-55
 ☐ NL-43

日報作成を希望する値を選択してください

☐ 演算値
 ☐ 瞬時値

① 添付ファイル内の実行ファイルを選択してください（一括読込フォルダ内）

※実行ファイル xdsm を選択してください。

② 測定データが保存されている”フォルダ”  を選択してください

※フォルダ内のデータではなく、”フォルダ”ことです。

③ 作成した日報表の保存先を選択してください。

※例：デスクトップ
 注意：フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、
 保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。
 大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨し

実行

※ファイル一括読込フォームが立ち上がらない場合は実行ボタンを押下してください。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	フォルダを指定してデータファイルをまとめて読み込みます。					
3	実行ボタンをクリックしてください。					
4	<div>実行</div>					
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

■NV系の場合

一括読込Form

×

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます

● NVシリーズ

日報作成を希望する値を選択してください

☐ 演算値 ☐ 瞬時値

① 添付ファイル内の実行ファイルを選択してください(一括読込フォルダ内)

参照

※実行ファイル.xlsm を選択してください。

② 測定データが保存されている”フォルダ”を選択してください。

参照

※フォルダ内のデータではなく、“フォルダ”ごとです。

③ 作成した日報表の保存先を選択してください。

参照

※例:デスクトップ
注意:フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、
保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。
大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨します。

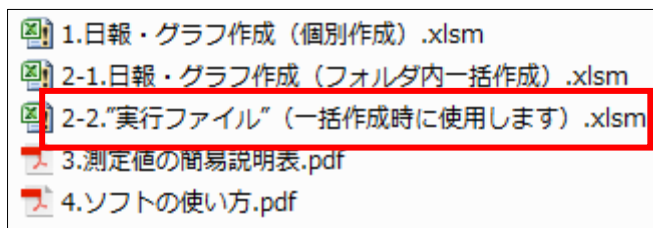
実行

4-3.使用した機械を選択します。

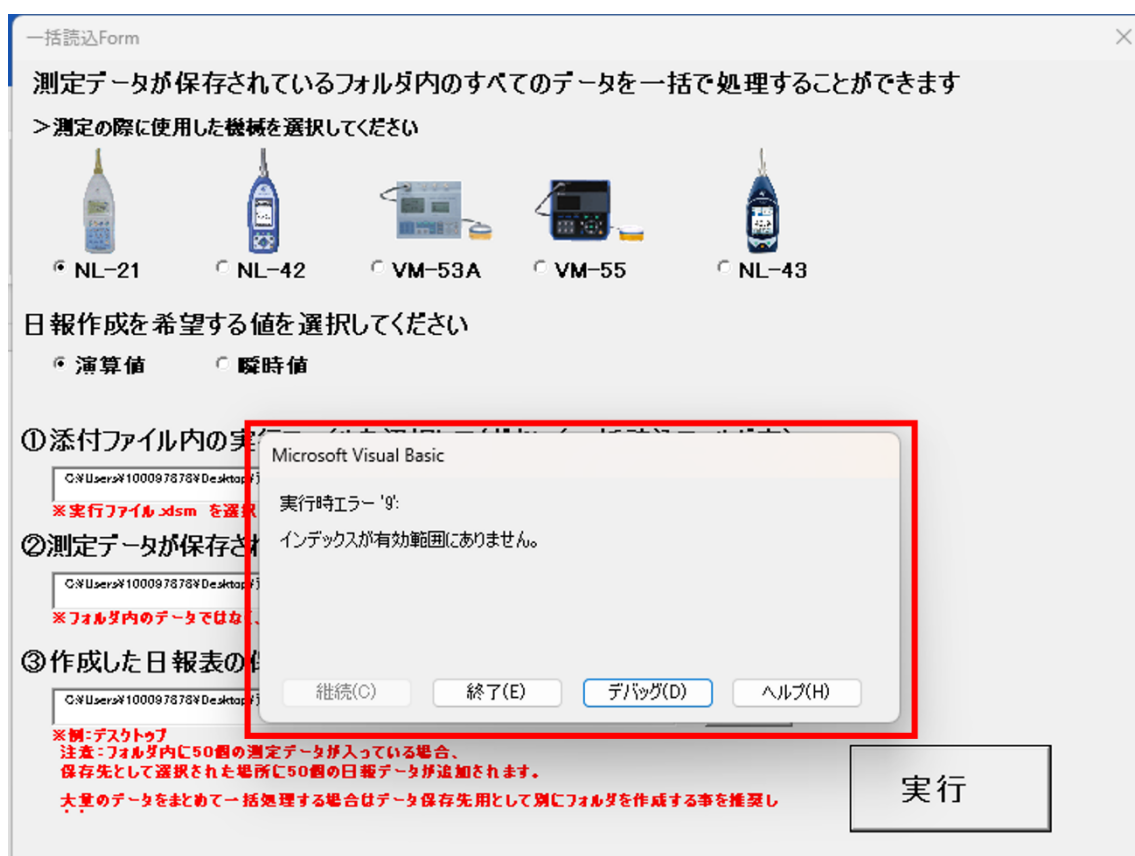
4-4. 演算値または瞬時値どちらの日報を作成するのかを選択します。

※NL-21・VM-53A の場合・・・オート 1 またはタイマーオート 1 で計測したデータが瞬時値
オート 2 またはタイマーオート 2 で計測したデータが演算値

4-5. ①は、ソフト内「2-2.実行ファイル」を選択します。



実行ファイル 以外を選択した場合、警告が表示されます。

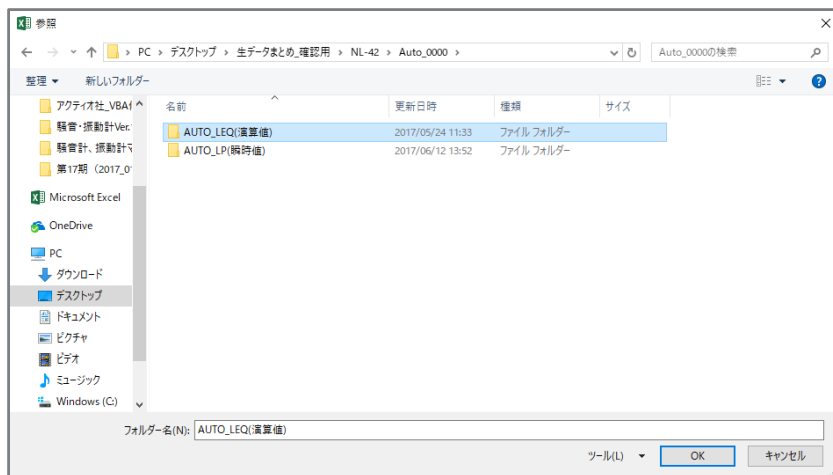


4-6. ②は、一括で取り込むファイルの保存先フォルダを選択します。

(フォルダ内の出力ファイル全てを読み込みます)

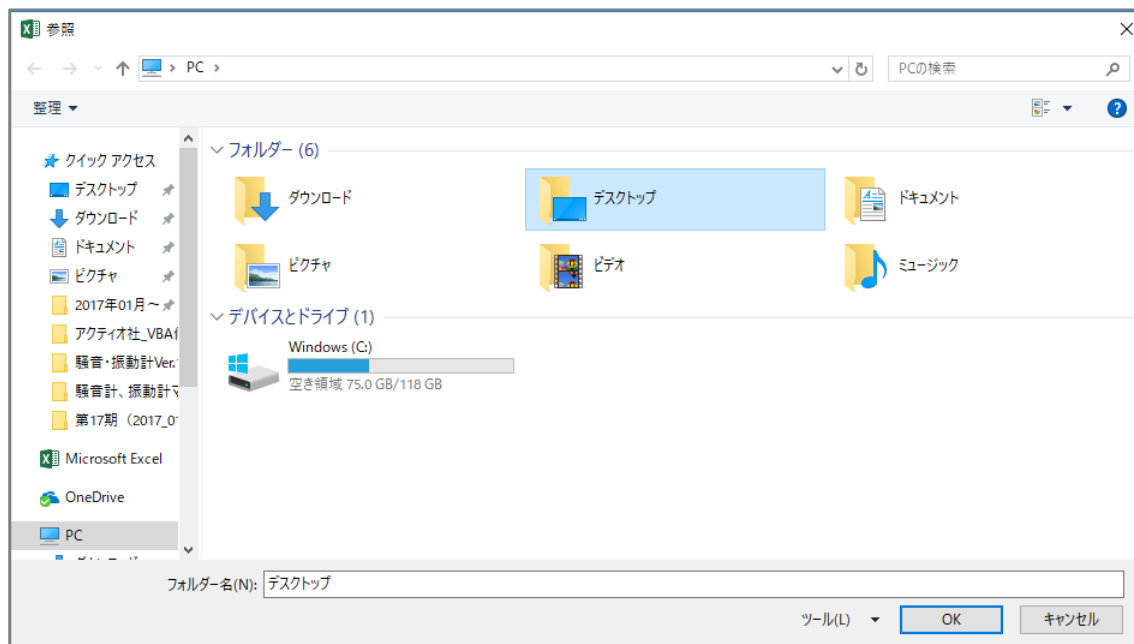
※選択するのは個別ファイルではなく、**フォルダごと**です。

例)NL-42 の演算値フォルダを選択



4-7. ③は、書き出し先フォルダを選択します(ファイルを保存したい場所を選択します)。






例)デスクトップに保存する場合



4-8. 準備が完了したら、実行ボタンを押します。


一括読込Form

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます
> 測定の際に使用した機械を選択してください

 NL-21  NL-42  VM-53A  VM-55  NL-43

日報作成を希望する値を選択してください
☐ 演算値 ☐ 瞬時値

① 添付ファイル内の実行ファイルを選択してください (一括読込フォルダ内)
 参照
※実行ファイル .xdsn を選択してください。

② 測定データが保存されている”フォルダ”  を選択してください
 参照
※フォルダ内のデータではなく、”フォルダ”ことです。

③ 作成した日報表の保存先を選択してください。
 参照
※例: デスクトップ
注意: フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、
保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。
大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨し

実行

Microsoft Excel

読み込みが完了しました。
③で選んだ出力先にファイルが作成されていますので、日報を作成してください
このファイルは閉じてください

OK

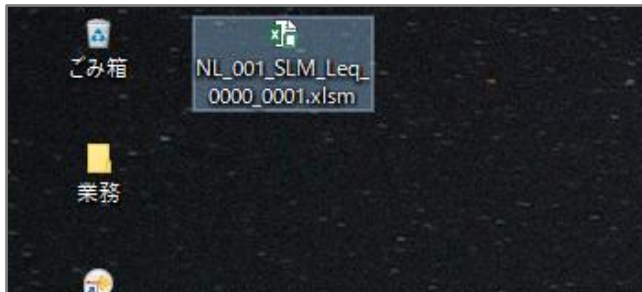
4-9. 一括読込ファイルを閉じます。(③で指定した場所に保存されます)

※一括処理は、フォルダ内の1ファイルずつ処理していきます。

お使いのPCのスペック(性能)によっては、処理ができない場合がございますので、
その場合はお問合せください。

5. 一括読込で作成したファイルを開いて、日報とグラフを作成します。

作成方法とフィルタのかけ方は個別の場合(7 ページ)と同じです。



5-1. ファイルを開き、日報とグラフの作成を行います。

■演算値の場合

■瞬時値の場合

12騒音現場調査報告書

工事名

工事場所

調査場所

対象工事名

調査年月日

調査時間

H27.1.17

15:26:01

15:37:00

【日時フィルタ】

年月

時間

From

H27.1.17

15:26:00

To

H27.1.17

15:26:10

※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます。(入力例:2017/6/1 9:00:00)

※フィルタリング不要な場合は空にしてください。

【警報閾値(以上)】

85.0 dB

※この数値を超えたものが、日報で赤字になります。

フィルタ&グラフ反映

Address

Date

Time

騒音レベル(dB)

備考

1

H27.1.17

15:26:01

47.8

2

H27.1.17

15:26:02

54.2

3

H27.1.17

15:26:03

48.4

4

H27.1.17

15:26:04

60.8

5

H27.1.17

15:26:05

46.9

6

H27.1.17

15:26:06

47.9

7

H27.1.17

15:26:07

48.4

8

H27.1.17

15:26:08

52.7

9

H27.1.17

15:26:09

52.5

10

H27.1.17

15:26:10

50.6

11

H27.1.17

15:26:11

49.7

12

H27.1.17

15:26:12

57.2

13

H27.1.17

15:26:13

50.0

※時値 <データ読み用>

※時値 <日報表>

※時値 <グラフ>

+

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

G

H

I

A

B

C

D

E

F

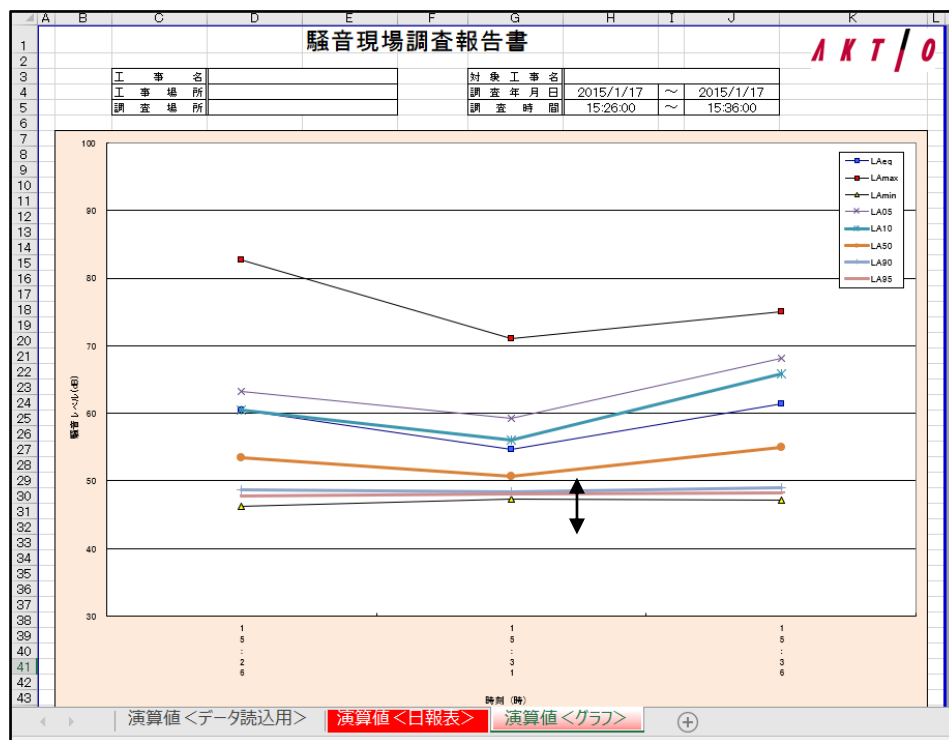
G

H

I

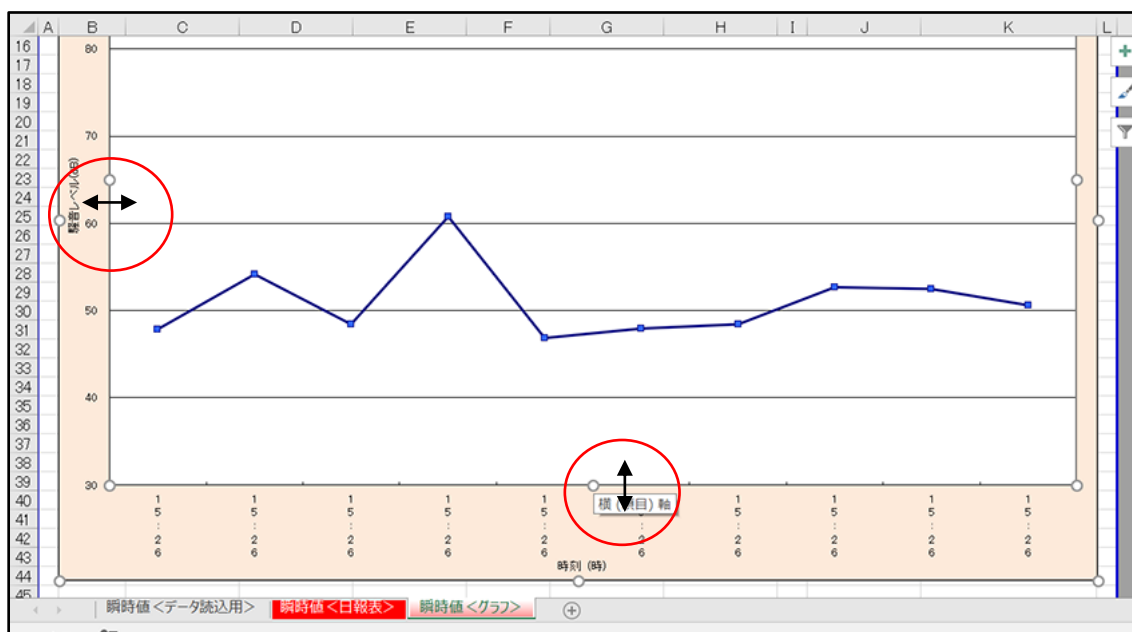
<

5-2. 日報とグラフを作成します。



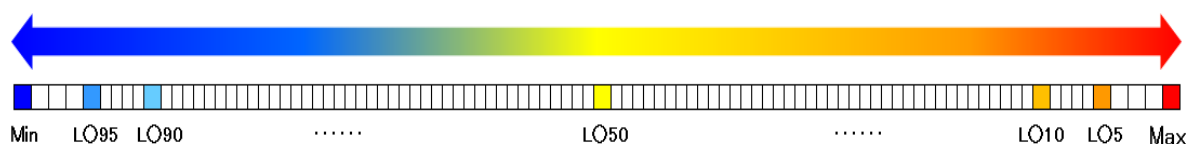
グラフの調整について

グラフの騒音レベルや時刻の文字が見つからない場合、グラフ内をクリックして調整してください。



6.測定値の簡易説明

表記	呼び名	簡易説明内容
LA(V)eq	騒音:等価騒音レベル 振動:等価振動レベル	測定時間内の音(振動)のエネルギーを平均化した値 (平均値)
LA(V)Max	最大値	時間設定した時に測定した値の最大値
LA(V)min	最小値	時間設定した時に測定した値の最小値
LA(V)5	5%時間率 騒音 (振動) レベル	騒音 (振動) があるレベル以上になっている時間が実測時間の5%を占める値。騒音測定に必要な90%レンジの上端値 例) 測定時間を100個に分割した中で、L5は大きい方から5個目の数値、L95は同じく95個目の様なイメージ
LA(V)10	10%時間率 騒音 (振動) レベル	考え方は上記と同様で上位の10%の数値を示す 振動レベル測定に必要な80%レンジの上端値
LA(V)50	50%時間率 騒音 (振動) レベル	考え方は上記と同様で上位の50%の数値を示す 騒音 (振動) レベルの中央値
LA(V)90	90%時間率 騒音 (振動) レベル	上10%、下10%を除いた、真ん中80%レンジの下端値
LA(V)95	95%時間率 騒音 (振動) レベル	上5%、下5%を除いた、真ん中90%レンジの下端値



測定したデータ数の合計が 100 個の場合、測定値を数値順に並べ替えた際、最大値から数えて 5 番目の数値が L5、10 番目の数値が L10・・・というようなイメージです。

騒音は、LA5・LA95・LAeq が一般的な測定結果、
振動は LV10・LV90・LVeq が一般的な測定結果として見られることが多いです。